

ロボとなら触れ合える

密から分散へ
②

「足を動かせる人は足を動かしてね」。高齢者にこ
う呼びかけるのはソフトバ
ンクグループのヒト型ロボ
ット「ペッパー」。高齢者
もうなずきながら、手足を
動かす。水戸市の複合型介
護施設、水戸ケアセンター
そよ風では、新型コロナウイルス
の感染防止で家族の
面会を制限しており、ペッ
パーが「ふれあい」に一役
買っている。

介護現場、センサーで見守りも



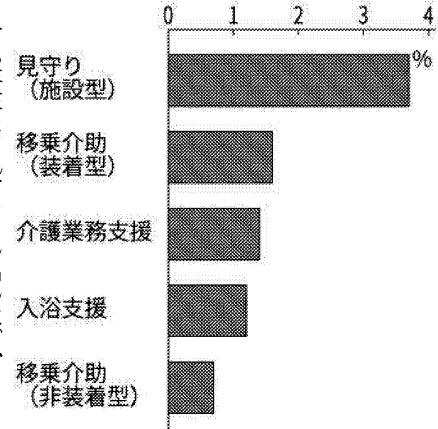
水戸ケアセンターそよ風で高齢者に人気のペッパー（職員撮影）

巡回・トイレ案内にペッ
パーを生かしてきた。「介護
は接触なしに成り立たない
が、無人化も欠かせない」。
夜間の遠隔操作に向けた検
証や配置施設の拡大を検討
する。

「かわいいわね」。福井
県坂井市は今月、60〜90代
の独居高齢者10人の自宅に
手不足を補い、職員の負担
を軽くする存在とされてき
た。それがコロナの感染拡
大で人がいなくても、ロボ
ットがいれば安心という環
境まで求められるようにな
った。家族や介護ヘルパー
らとの接触を減らし、高齢
者サービスの質を高める。
そんな切り札的存在と位置
づけられつつある。

現場に必要なロボットを
増やそうと、政府の規制改
革推進会議は7月、介護報
酬制度の見直しでロボット
の普及に弾みをつけるよう
提言した。厚生労働省も8
月から対応を強化。製品開
発や相談対応、ロボット貸
への期待は高い。

介護ロボの導入率は低い



(注)介護労働安定センターの2019年10月調査。訪問、入所、通所施設の合計

許諾番号30077582 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。